

進路便り (高校版)



2017年6月7日 発行

東明館高等学校 進路指導部

6月に入りました。梅雨入りはしていませんが、蒸し暑くなりましたね。この時期は身体のバランスを崩しがちです。授業や家庭学習に集中するためにも規則正しい生活を心がけるようにして下さい。どんなに素晴らしい学習計画を立てても、身体の調子を壊しては実行することが出来ません。受験は短距離走ではありません、規則正しい食習慣や睡眠時間の確保などの生活を確立することが、結局は自分の目標達成につながることを知って欲しいと思います。高校3年生は、最後の高校総体が終わりました。きちんと気持ちを切り替えて、受験勉強に向かうことが大事です。また、高校3年生は、これから約10回の模試やその後のセンター試験、国公立・私立大の個別試験を受けることとなりますが、目の前の結果に一喜一憂することなく、自分の最終的な目標を見据えて、自分が今やるべき事を考えて行動して欲しいと思います。

○ 考査と模試について

今月の28日からは1学期期末考査があります。考査が終わるとすぐに、高1・2年生は7月に入ると進研模試があります。定期考査は授業内容の定着度を測るものですから、自分自身の基礎学力の確認のため、また、模擬試験は自分の学力の到達レベルを全国指標で測るものですから、自分の目標とする大学・学部合格するための受験学力の到達度を確認することができます。どの試験でも言えることですが、漫然と試験を受け、受けた後も受けっぱなしにすることが一番良くないことです。大切なことは、数値化した具体的な目標をあげることで、自分に必要なものが見えてくると思います。

文責：田代（地歴公民科）

○ 卒業生からのメッセージ

今、卒業生の方が教育実習生として来られています。進路指導部では「大学・学部選択」「勉強法アドバイス」などについて後輩へのアドバイスをお願いしましたので参考にして下さい。また、みなさん方もこの機会を利用して、勉強や大学のことなど直接聞いてみてはどうでしょうか。



◆ 池上あずさ (24期 立命館大学 情報理工学部, 実習教科：中学数学)

① 大学の志望理由・経緯

現在、立命館大学の情報理工学部で情報（WEB、ソフトなど）について学んでいます。教員免許が取得でき、別の事も学べるような大学・学部を探していました。情報理工学部では情報だけでなく数学の教員免許が取得可能であり、WEBやその時に現在のゲームに興味があったため、現在の大学を選びました。

② 高校時代の勉強方法

問題集の章末問題をひたすら解き、何度も繰り返しました。数学では高校2年から毎日1問記載されたプリントが配布されおり、それも毎日解いていました。また、場所にもこだわり、集中力をあげるため、ある程度の雑音がある環境で勉強していました。

③ 学校生活全般のアドバイス

クラスメイト以外に先生方との触れあいも大切だと思います。私自身、将来の夢や大学の方向性、どういう人間になりたいかは、友人の影響でなく、先生方からの影響の方が大きかったと思います。先生方は教師である前に人生の先輩であるため、とても参考になりました。

◆ 山本桃実

(23期 福岡教育大学 教育学部, 実習教科：中学数学)

① 現在の大学を志望した理由・経緯

私は小学四年生の時から教師になるという夢を持っていました。受験時にいろいろな大学を調べていると、

福岡教育大学は初等と中等に分かれていてさらに教科で学科が分かれているということを知り、この大学だったら教師として必要なことを他の大学よりも詳しく十分に学べるのではないかと思ったのがこの大学を選んだ理由です。福岡教育大学は他の大学に比べると主に教育学部が占めているという点では特殊かもしれませんが、夢はこれからも変わることがないと確信を持っていたので私にとってはぴったりの大学でした。

② 高校時代の勉強法

高校時代は定期考査に向けて、まずは教科書の基礎問題から完璧にできるようにし次に学校で指定されている問題集の問題に取り組んでいました。その際間違えた問題の隣に正の字を書きこんでいき自分が苦手としている問題をテスト（受験）の直前にすぐ見直せるようにしていました。人それぞれ自分に合う勉強法は違うと思うので、早くから勉強に取り組み自分なりの勉強法を見つけてほしいです。

③ 学校生活全般のアドバイス

とにかく自分がしたいということを決めて、精一杯取り組むことです。私の場合はそれが部活だったので、中高6年間精一杯打ち込むことでとても素敵な思い出を作ることができました。大人という期間は60年くらいあるかもしれないけれど学生生活は人生のうちでとても最少なくてやり直しのできない時間なので、今しかできないことを沢山して悔いのないように過ごしてください。

◆ 松藤 翔 (22期 福岡教育大学 教育学部, 実習教科：中学国語)

① 現在の大学を志望した理由

小学生時代から人に教えると言うことが好きだった。一度長崎大学に進学するが、「一生の仕事」と考えたときに自分のやりたいことがしたいと思い、大学を辞めて、九州で唯一の教員養成大学である「福岡教育大学」へ進学することを決めた。

② 高校時代の勉強方法

授業で行われる小テストにまじめに取り組んでいた。また、英語や数学が苦手だったので高校3年生の夏・秋にかけて中学生レベルの基礎からやり直した。

③ 学生生活全体のアドバイス

将来何がしたいのかを一度しっかり考えてみてください。皆さんが今後どのような職に就き生きていくのか。それを考え、進路を選択するのが中学校・高校の6年間だと思います。卒業してから分かることですが余所の学校と比べても東明館の受験対策はかなり徹底されています。必要なことは先生方が何年もかけて教えてくれています。どのような態度で日々の授業や小テストに真剣に取り組むかで皆さんの進路が大きく変わります。先生方や仲間と共に楽しく充実した学生生活を送ってください。

◆ 高倉輝 (23期 西南学院大学 国際文化学部, 実習教科：高校世界史B)

① 現在の大学を志望した理由

現在の大学（西南学院大学国際文化学部）を選択したきっかけは、もともと高校時代から世界史が好きだったということが挙げられます。しかし、現在はいろいろな巡り合わせもあり、「映画学」という映画についての学問を学んでいます。

② 高校時代の勉強方法

勉強に関して言えることは、絶対に苦手な科目から逃げないということです。高校三年生になっても往生際悪く苦手科目から逃げた私のようになってはいけません。（ちなみに、私はそれが決め手で浪人しました！）

③ 学校生活全般のアドバイス

ぜひ中学、高校時代に「外に向けて表現する」ということをやってほしいです。いまの感性だからこそ表現できることが、その時々でたくさんあると思います。それは、芸術だとか、議論だとか、スポーツだとか、かたちは人それぞれだと思いますが、何かのめり込めるようなものをこの時期に見つかけられると、楽しい学校生活になると思います。

その理由をお話しましょう。創造性を育てるうえで、特に、心がけなければならないことは、時間的、心理的な「ゆとり」を持つこと、ものごとにとらわれ過ぎないこと、豊か過ぎないこと、飽食でないことなどが挙げられます。自らで考えることにじっくり時間をかけること、そして時間的にも心理的にもゆったりとすることが最も大切となります。子供の頃をちょっと思い出して下さい。子供の頃は、例えば、夏休みがゆっくり過ぎていたと感じませんか。大人になると、忙しさで、時間は走馬灯のように速く過ぎていきます。脳科学者のDavid Eagleman（デイウィッド イーグルマン）さんは「記憶が詳細なほど、その瞬間は長く感じられる。しかし、周りの世界が見慣れたものになってくると、脳が取り込む情報量は少なくて済み、時間が速く過ぎ去っていくように感じられる」と言っています。自分の時間を有効に使うために、自力で時の流れを遅くする必要があります。そのために五つの方策が提案されていることは良く知られています。

- 一、学び続けること。新しい経験が得られて、時間感覚がゆっくりとなる。
- 二、新しい場所を訪ねる。定期的に新しい環境に脳をさらす。
- 三、新しい人に会う。他人とのコミュニケーションは脳を刺激する。
- 四、新しいことを始める。新しい活動への挑戦。
- 五、感動を多くする。

信州大学では、自然に囲まれた緑豊かなキャンパスでの勉強と課外活動、都会の喧騒とは無縁の落ち着いた生活空間、モノやサービスなどが溢れることのない地に足の着いた社会など、知的にものごとを考え、創造的な思考を育てる環境を簡単に手に入れることができます。先輩諸氏は、このようにして、ゆっくりとした時間の流れを作っていたのです。

皆様はどうでしょうか。残念なことですが、昨今、この信州でもモノやサービスが溢れ始めました。その代表例は、携帯電話です。アニメやゲームなどいくらでも無為に時間を潰せる機会が増えています。スマホ依存症は知性、個性、独創性にとって毒以外の何物でもありません。スマホの「見慣れた世界」にいと、脳の取り込み情報は低下し、時間が速く過ぎ去ってしまいます。「スマホやめますか、それとも信大生やめますか」 スイッチを切って、本を読みましょう。友達と話をしましょう。そして、自分で考えることを習慣づけましょう。自分の持つ知識を総動員して、ものごとを根本から考え、全力で行動することが、独創性豊かな信大生を育てます。